

(様式 25)

設備計画概要書

提案要請番号

- 1) ※印のものは指定条件です。
- 2) その他は、内容欄の該当項目を●印にて表現してください。
文章あるいは図表で説明したい場合は、空欄に簡潔に表現してください。また該当項目がない時は項目を追加して記入してください。
- 3) 設備計画概要書中、「諸室資料」によるとあるものは、「諸室資料」を参考に、様式23「諸室チェックリスト」の中で提案していただくものとします。

I 一般事項																														
1	建物名称	県立保健医療福祉大学(仮称)																												
2	工事場所	横須賀市平成町1丁目(よこすか海辺ニュータウン内)																												
3	敷地面積	約37,800m ²																												
4	建物概要	建物名	構造	階数	延面積 [m ²]	消防法施行令 別表第一の区分	備考																							
5	設計人数	設計対象人員	1,200 人																											
		外来見込人数	60 人																											
6	耐震対策	<p>地震対策を耐震工法により行う場合は下記による</p> <p>水槽及び冷却塔の耐震強度は下表による。</p> <p>※ 設計用標準水平震度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受水槽</th> <th>高架水槽</th> <th>冷却塔</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最上階・屋上・塔屋</td> <td>/</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>地階・1階</td> <td>1.5</td> <td>/</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>設計用標準鉛直震度は設計用水平地震力に1/2を乗じたものとする。</p> <p>※ 地域係数 1.0</p> <p>※ 配管はすべて耐震支持を行う。</p> <p>局部震度法による設備機材の取付強度計算に用いる設計標準水平震度は下表による。</p> <p>※ 設計用取付標準水平震度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全ての機材</th> <th>・上層階の定義は次のとおり。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階・屋上・塔屋</td> <td>2.0</td> <td>6階建て以下の場合是最上階</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5</td> <td>7~9階建ての場合には上層2階</td> </tr> <tr> <td>1階・地階</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>設計用標準鉛直震度は設計用水平地震力に1/2を乗じたものとする。</p>						受水槽	高架水槽	冷却塔	最上階・屋上・塔屋	/	2.0	2.0	地階・1階	1.5	/	1.0		全ての機材	・上層階の定義は次のとおり。	上層階・屋上・塔屋	2.0	6階建て以下の場合是最上階	中間階	1.5	7~9階建ての場合には上層2階	1階・地階	1.5	
	受水槽	高架水槽	冷却塔																											
最上階・屋上・塔屋	/	2.0	2.0																											
地階・1階	1.5	/	1.0																											
	全ての機材	・上層階の定義は次のとおり。																												
上層階・屋上・塔屋	2.0	6階建て以下の場合是最上階																												
中間階	1.5	7~9階建ての場合には上層2階																												
1階・地階	1.5																													
7	各室の設計条件	配布資料「諸室資料」による。																												
8	関係機関との打ち合わせ事項	配布資料「設計・建設条件」による。																												

項 目	内 容
4)その他	
12 適用基準等	<p>※ 機械設備工事共通仕様書、同標準図 平成9年版 (建設大臣官房官庁営繕部監修)</p> <p>ただし、次に掲げるものを適用しない。</p> <p>(1)第1編第1章第7節</p> <p>(2)第2編第5章関連工事のうちの「建築工事共通仕様書による」という記述の部分。</p> <p>(3)第3編第1章第1節から同章第11節、第4編第1章第1節から同章第2節及び第5編第1章第2節から同章第5節のうち、製造者の標準仕様と異なる部分。</p> <p>※ 電気設備工事共通仕様書 同標準図 平成9年版 (建設大臣官房官庁営繕部監修)</p> <p>ただし、次に掲げるものを適用しない。</p> <p>(1)第1編第1章第7節</p> <p>(2)第1編第2章第1節仮設工事のうちの「建築工事共通仕様書による」という記述の部分。</p> <p>※ 建築設備設計基準・同要領 平成10年版 (建設大臣官房官庁営繕部監修)</p> <p>※ 建築設備耐震設計・施工指針 1997年版 (建設省住宅局建築指導課監修)</p> <p>※ 昇降機耐震設計・施工指針 1998年版 (財団法人日本建築センター編集)</p> <p>※ 建築設備の耐震に関する施工標準 平成9年4月1日 (神奈川県都市部建築設備課)</p> <p>※ 設備機材等評価名簿(電気設備機材・機械設備機材) 平成11年度版 (建設大臣官房官庁営繕部監修)</p>

項 目	内 容
<p>13 施工</p> <p>1) 一般事項</p> <p>2) 電気設備</p> <p>3) 機械設備</p>	<p>※ 更新性・メンテナンス性を考慮したものとする。</p> <p>※ 主要機器は原則として屋内設置とする。</p> <p>※ オゾン層破壊物質を使用する機器は原則として採用しない。</p> <p>※ 耐震仕様は項目6耐震対策による。また、風水害、高潮、落雷、断水、停電、大火などの災害を考慮して計画する。</p> <p>※ 施工にあたっては、横須賀市に対して環境関係法令上の申請届出を適宜行うこと。また、「環境配慮書」(神奈川県生活環境の保全等に関する条例)の提出を工事前に行うこと。</p> <p>※ 「エコマテリアルケーブル」を使用すること。</p> <p>※ 受変電設備、自家発電設備及び静止形電源設備等主要機器は、屋内設置とする。</p> <p>※ コンクリート打込部のVEボックスの使用は不可とする。</p> <p>※ 長さ1m以上の電線を入線しない管路には1.2mm以上のビニル被服電線を挿入する。</p> <p>※ 合成樹脂製可とう電線管はPF管(一重管)とし、太さは原則として(22)以下とする。</p> <p>※ いんぺい部に設けるプルボックスのふたで、一辺の長さが800mmを越えるものは原則として、両引きスライド式とする。</p> <p>※ タンブラースイッチ及びコンセント(一般用2P15A)は連用形とする。ただし2口コンセントの場合は複式を使用しても良い。</p> <p>※ 特殊形式のコンセントには、プラグを附属させる。</p> <p>※ 分電盤等には絶縁測定接地端子座を設ける。</p> <p>※ 高圧ケーブルを屋外端未処理する場合は、プレハブ形耐塩端未処理材を使用する。</p> <p>※ 外部から建物への導入部分並びにエキスパンション部分をまたがる配管等については耐震性を考慮して有効なフレキシブル継手を設ける。</p> <p>※ 主要熱源機器とその周辺機器、ブロック別の空気調和機、厨房用空調換気機器、送排風機等は、屋内設置とする。また、原則として便所、厨房等の水を使用する室の下階には電気室・発電機室・中央監視室等水損の恐れのある室を計画しない。</p> <p>※ 施工にあたり下記の技能士を指定する。</p> <p>(1)冷凍空気調和機器施工</p> <p>(2)熱絶縁施工</p> <p>(3)配管施工</p> <p>※ 建物内土間配管は(排水管以外)原則として行わない。</p>

II 電気設備	
項目	内容
I 電灯設備	
1) 電気方式	○仕様電圧は下記による（想定している電圧を記載して下さい）。 幹線： 単相 3線式 V 分岐： 単相 2線式 V 単相 2線式 V
2) 配線方法	幹線： ○電線管配線 ○ケーブルラック配線 ○ 分岐： ○電線管配線 ○ケーブル配線 ○
3) 主たる照明器具・照度	※照明器具・照度条件：配布資料「諸室資料」によると共にJIS-Z-9110-89による。
4) 非常照明	光源： ○蛍光灯 ○白熱灯 ○ 電源： ※別置
5) 誘導灯	※関連法規による。
6) 分電盤	※形式：鋼板製自立型扉付を原則とし、回路数により壁掛型も可。 ※取付場所：EPS内・実験室準備室内・CPU室内等電力供給に応じ設置する。
7) 配線室 (EPS)	※あり
8) 省エネルギー対策	※省エネ形照明器具（※電子形）、 ※Hf器具の採用、 ○昼光利用による窓側照明器具の制御 ○ ○（○段調光式 ○連続調光式） ○
9) 計量区分	※厨房・売店は各々単独計量とする。又自動販売機も計量できるようにする。
10) その他	

項 目	内 容
<p>2 動力設備</p> <p>1) 電気方式</p> <p>2) 配線方式</p> <p>3) 制御盤</p> <p>4) 計量区分</p> <p>4) 力率改善</p> <p>5) その他</p>	<p>○仕様電圧は下記による（想定している電圧を記載して下さい）。</p> <p>幹線： 3相 3線式 V</p> <p>分岐： 3相 3線式 V</p> <p>幹線： ○電線管配線 ○ケーブル配線 ○</p> <p>分岐： ○電線管配線 ○ケーブル配線 ○</p> <p>※設置場所：機械室内及びE P S内</p> <p>※厨房・売店は単独計量とする。</p> <p>※動力制御盤には、力率改善用の進相コンデンサーを内蔵させる。</p>
<p>3 受変電設備</p> <p>1) 契約種別</p> <p>3) 受電電圧及び電気方式</p> <p>4) 形式</p> <p>5) 設備方式</p> <p>6) 主要機器</p> <p>7) 制御方式</p> <p>8) 力率改善</p>	<p>※業務用電力</p> <p>※3相3線式 6600V 50Hz</p> <p>※屋内形</p> <p>※高圧閉鎖配電盤，変圧器盤（CB-3形）</p> <p>※低圧配電盤 は中通路方式とする。</p> <p>変圧器： ○油入 ○モールド</p> <p>主遮断機： ※VCB</p> <p>※電気（直流）： ※直接 ※遠方</p> <p>自動力率制御： ※する（※サイクリック制御）</p> <p>コンデンサ： ※高圧側設置 ※低圧側設置</p> <p>下記にリアクトルの容量基準を記入して下さい。</p> <p>直列リアクトル： コンデンサ容量の %容量</p>

項 目	内 容
9) その他	
4 静止形電源設備 1) 直流電源装置 ア 蓄電池 イ 整流装置 ウ その他 2) 交流無停電電源装置 ア 形 式 イ 入 力 ウ 出 力 エ 整流装置方式 オ 蓄電池 カ その他	種 類 : ※MSE形 収納方式 : ○キュービクル式 (○整流装置と一体 ○別盤) ○開放型 想定されている電気方式・入力電圧を記載して下さい。 電気方式 : 相 線 入力電圧 : V ※共通仕様書によるUPS 想定されている電圧・電気方式を記載して下さい。 電圧・電気方式: 相 線 V 電圧・電気方式: 相 線 V ○IGBTによるPWM方式 ○ 種 類 : ※MSE形 ※停電補償時間 10分 (非常用発電機併用)
5 自家発電設備 1) 形 式 2) 発電機 3) 原動機	○オープン形 ○簡易形 ○キュービクル式 (低騒音型) ○ ※電気方式 : 三相3線式 6600V 50 Hz ※原動機 : 500KVA未満はディーゼルエンジン (冷却方式はラジエータ方式による) とし、500KVA以上はガスタービンエンジンとする。 ※長時間連続運転可能型とする。

項 目	内 容
4) 燃料備蓄量 5) 対象負荷 6) 騒音 7) その他	<p>※10時間以上とする</p> <p>関連法規を満たすと共に、以下の設備に送電可能とする。 エレベータ・給排水ポンプ類・無停電電源設備・中央監視室及び事務室等の運用上必要な部屋の照明とコンセント、動物実験室・動物実験準備室・動物舎・恒温恒湿室・低温室・無菌室・各実験室及び準備室に設置されるインキュベーター等。</p> <p>※煙道出口1mにおいて75dB以下とする。</p>
6 避雷設備	<p>※関連法規による。</p>
7 構内交換設備 1) 交換機 3) 電話機 4) 配線方式 5) その他	<p>形 式 : ※ 電子交換機</p> <p>設置場所 : ※ 専用室内</p> <p>※機能等 : 専用保守コンソール・プリンター料金課金装置を設置 停電時補償用バッテリーを設置 (補償時間30分以上) ページング機能</p> <p>形 式 : ※多機能電話・※アナログ電話 設置場所 : 配布資料「諸室資料」による。 公衆電話用配管 : ※要</p> <p>幹線 : ○電線管配線 ○ケーブルラック配線 ○ 分岐 : ○電線管配線 ○フロアダクト配線 ○</p>

項 目	内 容
3) その他	
13 テレビ共同受信設備 1) 配線方式 2) 直列ユニット 3) 受信波 4) 機器 5) その他	<p>○電線管配線 ○ケーブル配線</p> <p>設置場所：配布資料「諸室資料」による。</p> <p>※AM ※FM ※VHF ※UHF ※BS ※CS (将来) ※CATV (将来)</p> <p>※双方向型</p>
14 火災報知設備・ 防火防排煙設備 1) 火災報知設備 ア 配線方式 イ 受信機 ウ 副受信機 エ 発信機・ベル オ その他	<p>○電線管配線 ○ケーブル配線</p> <p>方式：※GR形</p> <p>形状等：○自立形 ○CRT表示 ○</p> <p>設置場所：※中央監視室</p> <p>○壁掛形 ○自立形</p> <p>設置場所：※事務室 ※保安室</p> <p>○単独 ○機器収容箱 (○単独 ○消火栓組込) ○非常放送補完</p>

項 目	内 容
<p>2) 防火防排煙設備</p> <p>ア 配線方法</p> <p>イ 連動制御器</p> <p>ウ 感知器</p> <p>エ その他</p> <p>3) ガス漏れ警報設備</p> <p>ア ガスの種類</p> <p>イ 検知器</p> <p>ウ 受信機</p> <p>エ その他</p>	<p>○電線管配線 ○ケーブル配線</p> <p>○単独 ○火報受信機と一体</p> <p>防火戸等 : ○火災報知設備と共用 ○専用</p> <p>防火ダンパー : ○火災報知設備と共用 ○専用</p> <p>※都市ガス</p> <p>設置場所 : 配布資料「諸室資料」のガス使用室</p> <p>形式 : ※火報受信機と一体</p>
<p>15 テレビ電波障害防除設備</p> <p>1) 受信障害</p> <p>2) 対策方策</p> <p>3) 事前調査等</p> <p>4) 予想範囲図</p> <p>5) その他</p>	<p>本施設が障害を及ぼす可能性</p> <p>ビル影 : ○無 ○有 (○VHF ○UHF)</p> <p>反 射 : ○無 ○有 (○VHF ○UHF)</p> <p>※対策工事及びそれに伴う作業は全て本工事に含む。 ○共同受信方式 (○共同アンテナ ○館内用アンテナ利用) ○</p> <p>測定 : ※設計時調査 ※中間調査 ※事後調査 毎に調査を行い 報告書を提出する。</p> <p>※今回の提案書提出時に、電波障害範囲の予想範囲図を提出する。</p>

項 目	内 容
16 監視カメラ設備 1) 設置場所 2) 機器 3) その他	カメラ設置場所 : ※主たる建物の出入り口 ○ 主装置設置場所 : ※保安室 ○ カメラ : ※カラー ビデオモニタ : ※カラー
17 駐車場管制設備 1) 車両検知方式 2) 管制機能 3) カーゲート 4) 発券機 5) 車路管制盤の設置場所 6) その他	○ループコイル式 ○ ○入出車管制 : ○満車・空車表示 ○駐車台数監視 ○ ○在車監視 ○ ○ ○あり ○なし ○あり(自動) ○あり(手動) ○なし 設置場所 : ○保安室 ○中央監視室 ○
18 防犯設備 1) 配線方法 2) その他	工事範囲 配管 : ※本工事 配線 : ※本工事 センサー : ※本工事

項 目	内 容
19 構内配電線路設備	
1) 引込方式	電 力 : ※地中 (ピラーボックス 有)
2) 電気方法	高圧 : 3相 3線式 6600 V 50Hz 低圧 : 相 線式 V Hz 相 線式 V Hz
3) 配線方式	※地中配線
4) 地中管材料	<input type="checkbox"/> SGP <input type="checkbox"/> 厚鋼電線管 <input type="checkbox"/> 合成樹脂管 () <input type="checkbox"/> FEP <input type="checkbox"/> PLP <input type="checkbox"/>
5) 外灯光源の種類	<input type="checkbox"/> 水銀灯 <input type="checkbox"/> メタルハライドランプ
6) 外灯点滅方式	※自動 (<input type="checkbox"/> タイマー <input type="checkbox"/> 自動点滅器 <input type="checkbox"/> 中央監視 <input type="checkbox"/>)
7) テニスコート照明	<input type="checkbox"/> 水銀灯 <input type="checkbox"/> メタルハライドランプ <input type="checkbox"/>
8) その他	
20 構内通信線路設備	
1) 通信の種類	<input type="checkbox"/> 電話用 <input type="checkbox"/> 時計・拡声用 <input type="checkbox"/>
2) 配線方式	※地中配線
3) 地中管材料	<input type="checkbox"/> SGP <input type="checkbox"/> 厚鋼電線管 <input type="checkbox"/> 合成樹脂管 () <input type="checkbox"/> FEP <input type="checkbox"/> PLP <input type="checkbox"/>
4) その他	
21 映像音響設備	
1) 音響設備	設置場所 : 配布資料「諸室資料」による。
2) 映像設備	設置場所 : 同上
3) 同時通話設備	設置場所 : 同上
4) その他	

Ⅲ 機械設備																																							
項 目		内 容																																					
1 空気調和設備		※ オゾン層の破壊防止、地球温暖化防止のため、原則としてフロンガスを 使用するシステムは採用しない。																																					
1) 一般事項																																							
2) 対象室名		配付資料「諸室資料」による。																																					
3) 設計温湿度条件		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">※ 外気条件</th> <th colspan="4">室 名</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">※ 一般系統</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>DB[°C]</th> <th>RH[%]</th> <th>DB[°C]</th> <th>RH[%]</th> <th>DB[°C]</th> <th>RH[%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>32.3</td> <td>63</td> <td>26.0</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.6</td> <td>38</td> <td>24.0</td> <td>40</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					項目	※ 外気条件		室 名						※ 一般系統				DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]	夏季	32.3	63	26.0	50			冬季	0.6	38	24.0	40		
項目	※ 外気条件		室 名																																				
			※ 一般系統																																				
	DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]																																	
夏季	32.3	63	26.0	50																																			
冬季	0.6	38	24.0	40																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="6">室 名</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>DB[°C]</th> <th>RH[%]</th> <th>DB[°C]</th> <th>RH[%]</th> <th>DB[°C]</th> <th>RH[%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					項目	室 名												DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]	夏季							冬季						
項目	室 名																																						
	DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]																																	
夏季																																							
冬季																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="6">室 名</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>DB[°C]</th> <th>RH[%]</th> <th>DB[°C]</th> <th>RH[%]</th> <th>DB[°C]</th> <th>RH[%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					項目	室 名												DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]	夏季							冬季						
項目	室 名																																						
	DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]	DB[°C]	RH[%]																																	
夏季																																							
冬季																																							
3) 方 式		<input type="radio"/> 空気調和 <input type="radio"/> 単一ダクト方式 (<input type="radio"/> 各階ユニット <input type="radio"/> 中央) <input type="radio"/> ファンコイルユニット・ダクト併用方式 <input type="radio"/>																																					
		<input type="radio"/>																																					

項 目	内 容
4) ゾーニング	○
5) 主 熱 媒	※ 水
6) 主 燃 料	※ 都市ガス
7) 省エネ措置	<input type="checkbox"/> 全熱交換器 <input type="checkbox"/> 外気取入制御 <input type="checkbox"/> VAV <input type="checkbox"/> VVW <input type="checkbox"/> 回転数制御 <input type="checkbox"/> ポンプ台数制御 <input type="checkbox"/> 熱源機器台数制御 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8) 冷温主熱源機器	※ 直焚吸収式冷温水機 (<input type="checkbox"/> 低NO _x バーナー <input type="checkbox"/> 排ガス再循環 <input type="checkbox"/>)
9) 空気調和機 形式	<input type="checkbox"/> ユニット形 <input type="checkbox"/> ターミナル形 <input type="checkbox"/> パッケージ形 (<input type="checkbox"/> 空冷 <input type="checkbox"/> 水冷) <input type="checkbox"/> ファンコイルユニット <input type="checkbox"/>
加湿	<input type="checkbox"/> 水加圧噴霧 <input type="checkbox"/> 蒸気噴霧 <input type="checkbox"/> 超音波式 <input type="checkbox"/>
空気清浄装置	<input type="checkbox"/> 電気集塵器 <input type="checkbox"/> ろ材誘電形 <input type="checkbox"/> 折込み形 <input type="checkbox"/> 袋形 <input type="checkbox"/> 自動巻取形 <input type="checkbox"/> パネル形 <input type="checkbox"/> 機器付属品

項 目	内 容	
10) その他		
2 換気設備 1) 一般事項 2) 対象室 3) 換気方式	<p>※ 実験室等の各室のエアバランスに留意し、最適風量制御を講じる。</p> <p>※ 塩害対策に支障がない限り、自然換気を行えるように計画する。</p> <p>※ 外気導入に際しては適切な除塵対策を行うこと。</p> <p>※ 腐食性ガス等の排気系統は、耐食性の高い材料を選定する。</p> <p>配布資料「諸室資料」による。</p>	
	対 象 室 名 (主要室)	
○ 第1種		
○ 第2種		
○ 第3種		

項 目	内 容
4 自動制御設備 中央監視制御設備 1) 一般事項 2) 自動制御設備 3) 中央監視制御設備 4) 電源装置 5) 中央監視制御装置の構成 6) 最大管理点数 7) 監視制御対象項目	<p>※ 建物管理方式との整合性をとると共に、ビルマネジメントシステム (BMS)の導入を計画する。尚、データ入力は本工事に含むものとする。各室の温湿度の監視制御、空調機、ファンの発停・状態監視を中央監視設備で行えること。夜間においては、警備員などが保安室などで警報を受ける事が出来ること。</p> <p>○ 電気式 ○ 電子式 ○ 空気式 ○ デジタル式 ○ ○</p> <p>※ 有 (※ 分散形 ○)</p> <p>無停電電源装置 : ○ 無 ○ 有</p> <p>*システムブロック図により提示 ○</p> <p>○</p> <p>空調設備 : ○</p> <p>衛生設備 : ○</p>

項 目	内 容
<p>8) 主な監視制御機能</p> <p>9) 自動制御による 省エネルギー対策</p> <p>10) その他</p>	<p>受変電設備： ○</p> <p>自家発電設備： ○</p> <p>○</p> <p>○ 可変水量制御 (○ ポンプ2方弁制御 ○ ポンプ台数制御 ○ ポンプ回転数制御)</p> <p>○ 可変風量制御 (○ ファン台数制御 ○ ファンダンパ制御 ○ ファン回転数制御)</p> <p>○ 熱源機器台数制御 ○ 冷却塔ファン温度制御</p> <p>○ CO2検出外気導入制御 ○ 外気冷房制御</p> <p>○ ウォーミングアップ外気導入制御</p> <p>○ CO2検出換気風量制御</p> <p>○ 最適起動停止制御 ○ ゼロエネルギーバンド制御</p> <p>○ ○</p> <p>○ ○</p>

項 目	内 容
<p>6 給水設備</p> <p>1) 一般事項</p> <p>2) 給水方式</p> <p>3) 配管材料</p> <p>4) 計量区分</p> <p>5) その他</p>	<p>※ 給水負荷については、実験・実習施設の規模を考慮して、時系列変化と最大負荷に留意して仕様を決定する。</p> <p>※ 受水槽は2槽式とする。</p> <p>※ 水槽には感震遮断弁・水道直結水栓を設ける。</p> <p>○ 高置タンク方式 (○ 市水 ○ 中水)</p> <p>○ 圧力タンク方式 (○ 市水 ○ 中水)</p> <p>給水引込管 : ○</p> <p>上水(屋内) : ○ ○ VA ○ PA ○</p> <p> : ○ ○ ○ ○</p> <p>上水(屋外) : ○ ○ VD ○ PD ○</p> <p>(引込管を除く)</p> <p>中水(屋内) : ○ ○ VA ○ PA ○</p> <p> : ○ ○ ○ ○</p> <p>中水(屋外) : ○ ○ VD ○ PD ○</p> <p>(引込管を除く)</p> <p>※ 施設全体使用量 ※ 食堂厨房使用量</p> <p>※ 冷却塔使用量</p>
<p>7 排水設備</p> <p>1) 排水方式</p>	<p>屋内 汚水と雑排水 : ※ 分流</p> <p>屋外 汚水と雑排水 : ※ 合流</p> <p> 雨水と生活排水: ※ 分流</p>

項 目	内 容																																						
6) 配管・循環方式 (中央式) 7) 配管材料 8) その他	※ 複管 (※ 強制循環) <input type="radio"/> 鋼管 <input type="radio"/> ステンレス管 <input type="radio"/> 給湯用塩ビライニング鋼管																																						
9 消火設備 1) 一般事項 2) 消火設備の種類と 設置場所 3) 配管材料 4) 防火水槽 5) その他	※ 消防法等関連法規に基づき必要設備を設置する。 ※ 室の使用状況を考慮して、自主設置消火設備を適宜設ける。 <table border="1" data-bbox="609 1041 1522 1684"> <thead> <tr> <th data-bbox="609 1041 890 1093">種 類</th> <th data-bbox="890 1041 1310 1093">設 置 場 所</th> <th data-bbox="1310 1041 1522 1093">適 用 法 令</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td><input type="radio"/> 屋内消火栓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td><input type="radio"/> 屋外消火栓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td><input type="radio"/> スプリンクラー</td><td></td><td></td></tr> <tr><td><input type="radio"/> 新ガス消火</td><td></td><td></td></tr> <tr><td><input type="radio"/> 泡消火</td><td></td><td></td></tr> <tr><td><input type="radio"/> 粉末消火</td><td></td><td></td></tr> <tr><td><input type="radio"/> 連結送水管</td><td></td><td></td></tr> <tr><td><input type="radio"/> 連結散水</td><td></td><td></td></tr> <tr><td><input type="radio"/> フード等用 簡易自動消火装置</td><td></td><td></td></tr> <tr><td><input type="radio"/> 防火水槽</td><td></td><td></td></tr> <tr><td><input type="radio"/></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 一般配管： <input type="radio"/> 配管用炭素鋼鋼管(白) <input type="radio"/> 圧力配管用炭素鋼鋼管() 地中配管： <input type="radio"/> 外面被覆鋼管 (<input type="radio"/> VS <input type="radio"/> PS) 構造： <input type="radio"/> 容量： <input type="radio"/> m3			種 類	設 置 場 所	適 用 法 令	<input type="radio"/> 屋内消火栓			<input type="radio"/> 屋外消火栓			<input type="radio"/> スプリンクラー			<input type="radio"/> 新ガス消火			<input type="radio"/> 泡消火			<input type="radio"/> 粉末消火			<input type="radio"/> 連結送水管			<input type="radio"/> 連結散水			<input type="radio"/> フード等用 簡易自動消火装置			<input type="radio"/> 防火水槽			<input type="radio"/>		
種 類	設 置 場 所	適 用 法 令																																					
<input type="radio"/> 屋内消火栓																																							
<input type="radio"/> 屋外消火栓																																							
<input type="radio"/> スプリンクラー																																							
<input type="radio"/> 新ガス消火																																							
<input type="radio"/> 泡消火																																							
<input type="radio"/> 粉末消火																																							
<input type="radio"/> 連結送水管																																							
<input type="radio"/> 連結散水																																							
<input type="radio"/> フード等用 簡易自動消火装置																																							
<input type="radio"/> 防火水槽																																							
<input type="radio"/>																																							

項 目	内 容
<p>10 厨房設備</p> <p>1) 利用者</p> <p>2) 予定食数</p> <p>3) 構成メニュー</p> <p>4) 調理方法</p> <p>5) 配膳方式</p> <p>6) 営業方式</p> <p>7) 熱源の種類</p> <p>8) 器具設置工事区分</p> <p>9) その他</p>	<p>※ 職員・学生・外来者 1,260 人</p> <p>※ 400 食/日 (昼食時)</p> <p>※ 主菜2種類、日替わり定食、麺類、スパゲティー、カレーライス、副菜5種、ライス、みそ汁、デザート</p> <p>※ 加工から調理まで</p> <p>※ カフェテリア(セルフサービス)方式</p> <p>※ 委託</p> <p>※ 都市ガス</p> <p>※ 本工事 (※ 厨房器具、什器備品共)</p>
<p>11 ガス設備</p> <p>1) ガスの種類</p> <p>2) 供給箇所</p> <p>3) 計量区分</p> <p>4) 換気ファン連動方式</p> <p>5) ガス漏れ警報器</p> <p>6) 配管材料</p> <p>7) 緊急遮断弁</p> <p>8) 業務用自動 ガス遮断弁</p> <p>9) その他</p>	<p>※ 都市ガス (発熱量 11,000 kcal/m³, 種類 13A)</p> <p>配布資料「諸室資料」による。</p> <p>※ 施設全体 ※ 食堂厨房 ※ 熱源機器(冷暖房、給湯)</p> <p>○ 連動スイッチ ○ 電磁弁方式</p> <p>○ 無 ○ 有 (○ 局所式 ○ 中央式)</p> <p>一般 : ○ 配管用炭素鋼管(白) ○</p> <p>地中 : ○ ポリエチレン被覆鋼管 ○</p> <p>※ 要 (中央監視室にて管理)</p> <p>※ 要 (厨房、調理実習室 - 中央監視室にて管理)</p>

項 目	内 容
<p>12 特殊ガス設備</p> <p>1) 一般事項</p> <p>2) ガスの種類</p> <p>3) 供給箇所</p> <p>4) 供給方式</p> <p>5) 緊急時の安全対策</p> <p>6) 配管材料</p> <p>7) その他</p>	<p>※ 医療ガス設備工事については「機械設備工事共通仕様書」平成10年版(厚生省保健医療局)による。</p> <p>※ 酸素 ※ 空気 ※ 吸引 ※ 窒素 ※ 水素</p> <p>※ アセチレン</p> <p>配布資料「諸室資料」による。</p> <p>※ 中央式</p> <p>○</p> <p>○ 屋外</p> <p>○ 屋内</p>
<p>13 雨水利用設備</p> <p>1) 一般事項</p> <p>2) 利用原水</p> <p>3) 利用用途</p> <p>4) 方式</p> <p>5) 利用水量</p> <p>6) 計量・計測</p> <p>6) その他</p>	<p>※ 「排水再利用・雨水利用システム計画基準・同解説」平成3年版(建設大臣官房官庁営繕部監修)による。</p> <p>※ 雨水</p> <p>※ 便所用水 ※ 散水 ○</p> <p>○</p> <p>○ m3/日</p> <p>※ 降雨量 ※ 集水量 ※ 貯留量 ※ 利用水量</p> <p>※ バックアップ(上水)量 ※ 逆洗量 ※ 残留塩素濃度</p>

項 目	内 容
14 除害施設 1) 一般事項 2) 方式 3) 処理水量 4) 流入水水質 5) 放流水水質 6) その他	<p>※ 実験排水(2次洗浄水)については中和処理を原則とする。</p> <p>※ 動物飼育排水並びに感染系排水については専用排水処理を行うことを原則とする。</p> <p>※ 実習室厨房を含む厨房排水については油脂分離吸着式とする。</p> <p>※ その他の除害物質については廃棄物として別途県が委託処理を計画する。</p> <p>○</p> <p>○ m3/日</p> <p>○</p> <p>○</p>

項 目	内 容
15 太陽熱利用給湯設備 1) 方式 2) 用途 3) 集熱量 4) その他	○ ○ ○
16 グランド散水設備 1) 方式 2) その他	○

構造計画概要書

(様式26)

棟別概要	A棟	B棟	C棟	D棟	E棟	F棟	G棟
棟名称							
延べ面積 (㎡)							
地上階数							
地下の有無							
高さ (M)							
軒の高さ (M)							
基礎形式							
杭種							
主要杭の耐力							
その他							
上部構造形式							
免震構造の適用							
免震構造の形式							
上記以外の耐震対策							
主要材料強度							
	コンクリート						
	鉄筋						
	鉄骨						
特殊な構造形式							

提案要請番号:

特殊な構造形式や主張すべき構造形式

1 事業の名称・目的及び内容

(1) 名 称	県立保健医療福祉大学（仮称）施設整備	
(2) 計画内容	① 位 置	
	② 土地 利用 計 画	
	③ 施設・設備等の計画	
	④ 道路・交通計画	
(5) 事業スケジュールの見込み		

2 地域の概況

(1) 自然的条件

① 地形・地質	
② 植 物	
③ 動 物	
④ 自然景観	
⑤ 史跡・名勝	
⑥ そ の 他	

(2) 社会的条件

① 人 口	
② 交 通	
③ 土地利用の現況	

提案要請番号：

環境配慮事項	講じようとする環境配慮の内容又は方針
① 周辺環境への負荷の低減	
② 多様な生息環境の保全	
③ 地形・地質等の改変の抑止	
④ 現存植生の保全	
⑤ 緑化	
⑥ 周辺と調和した景観	
⑦ 歴史的環境の保全	
⑧ 電波障害・日照障害の防止	
⑨ エネルギー・資源の有効利用	
⑩ 適正な水利用	
⑪ 廃棄物の適正処理	

- * (注) 工事着手以後の環境に及ぼす影響や負荷の低減に対し、講じようとする環境配慮の内容または方針について、主な環境配慮項目を参考にして、環境配慮事項ごとに記載する。環境配慮の手法については、ミディケーションの導入を検討するものとする。
記載する内容または方針について、環境配慮計画書を作成する時期における事業計画の立案または検討の熟度に応じた内容または方針とする。

ミディケーション：環境への影響を緩和する行為。具体的な内容は「回避」「最小化」「修正」「低減」「代償」である。

提案要請番号：

法令関係記載事項

(様式 28) 1/5

建築基準法関係

規制の内容	法令規制	設計対象有無	主たる適用箇所	設計の内容	
容積率					
建ぺい率					
道路斜線					
日影					
耐火建築物					
居室	採光				
	換気				
	天井高				
階段	寸法				
					蹴上
	踊り場				
直通階段					
					位置
	歩行距離				
	2以上				
	避難階段				

提案要請番号

規制の内容		法令規制	設計対象有無	主たる適用箇所	設計の内容
廊下	幅員				
	両側居室 片側居室				
屋外の出口	歩行距離				
屋上広場					
敷地内通路					
防火区画	面積区画				
	たて穴区画				
内装制限					
排煙設備					
非常用進入口					
非常用照明					
非常用昇降機					
避雷設備					
避雷設備					

注) 建築基準法に関する記載内容については、法律による規制内容を「法令規制」の欄に、今回の設計の内容の有無しを「設計対象有無」の欄に、又対象となる箇所を「主たる適用箇所」の欄に、最後に具体の数値等を「設計の内容」の欄に記入する。

提案要請番号

（棟別に1部づつ記入のこと。なお特記したい場合は摘要欄に記入のこと）

項目	検討対象	有 無	設置部位	寸法(cm、㎡)材質等	摘 要	
出入口	外部出入口	最小寸法				
		最大寸法				
		(自動ドア)				
		段差				
	室出入口	寸法				
		(自動ドア)				
段差						
廊下	材質	一般				
		特殊				
		段差				
	主要経路	幅員				
		高低差				
		特殊昇降機				
		壁からの突出				
	主要出入口	誘導床材				
	傾斜路廊下		幅員			
			勾配			
			高低差			
			踊場の設置			
		(交差型踊場)	幅員			
			手摺			
			色彩喚起			
			注意喚起材			
階段	避難階以外	幅員				
		蹴上寸法				
		踏面寸法				
		手摺				
		回り階段				
		表面材料				
		色の工夫				
		注意喚起材				

提案要請番号

項目	検討対象	有 無	設置部位	寸法(cm、㎡)材質等	摘 要
昇降機 (多使用：主 要部)	主要昇降機	廊下への近接			
		かごの床面積			
		かごの奥行き			
		車椅子の回転			
		位置表示			
		音声伝達			
		出口巾			
	操作版	車椅子対策			
		視覚障害者			
	乗降ロビー	巾			
		奥行き			
		音声表現			
	(一般：上記外)	床面積			
		奥行き			
車椅子の回転					
出口幅員					
便所	棟総便房数				
	身障者便所数	出入口寸法			
		円滑な開閉			
その他 (車椅子対策)	シャワー室	出口巾			
		円滑利用			
		床材			
		手摺			
	かたが等	高さ			
		蹴込			
	講習電話	高さ			
		蹴込			
	案内板	判別性能			
		点字表示			
		身障便所			
	誘導設備	非常点滅灯			
	非常口	段差無し			
		一斉放送			

ハートビル法関連（福祉の街づくり条例）（外部規定は全体で1部記入のこと。）（様式 22） 5/5

項目	検討対象	有 無	設置部位	寸法(cm、m)材質等	摘 要	
駐車場	全駐車台数					
	車椅子用駐車台数					
		スペース巾				
		表示				
敷地内通路		表面材料				
		段差の有無				
	主要出入口 への通路	幅員				
		高低差の有無				
		その対策				
		誘導用材質				
	車路との接触	注意喚起材				
		傾斜路	勾配			
		色表示				

県立保健医療福祉大学（仮称）新築工事

設計金額 円

工事価格 円

消費税相当額 円

1/10

1. 総括表

		(単位 千円)									
名称	数量	単位	a 建築工事	b 衛生工事	c 電気工事	d 空調工事	e 昇降機工事	f 計	g 備品格備費	f + g 合計金額	摘要
A. 直接工事費											
1. 棟工事	1	式									
2. 棟工事	1	式									
3. 棟工事	1	式									
4. 棟工事	1	式									
5. 棟工事	1	式									
6. 外構工事	1	式									
7. 屋外設備工事	1	式									
8. その他	1	式									
小計											

※ 総括表の工事種別ごとの合計欄の金額が、様式7 費用等積算表の建設費の各項目の金額と一致すること。

※ 総括表のA.直接工事費における工事種別ごとの小計欄の金額が、2.直接工事費における各工種ごとの計欄の金額と一致すること。

提案番号

(単位 千円)

名称	数量	単位	a 建築工事	b 衛生工事	c 電気工事	d 空調工事	e 昇降機工事	f 計	g 備品整備費	f+g 合計金額	摘要
B. 共通費											
1. 共通仮設費	1	式									
2. 諸経費	1	式									
小計											
C. 都市ガス設備工事			-		-	-	-				
都市ガス設備			-		-	-	-				
小計											
計 A+B+C=(工事価格)											
D. 消費税相当額											
消費税	1	式									
計											
合計											

請求書番号

2. 直接工事費内訳表

3/10

(単位 千円)

名称	数量	単位	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	外構工事	その他
a. 建築工事内訳	1	式									
1. 直接架設工事	1	式									
2. 杭・地業工事	1	式									
3. 土工等	1	式									
4. 躯体工事	1	式									
5. 屋根工事	1	式									
6. 外部仕上げ工事	1	式									
7. 内部仕上げ工事	1	式									
8. 建具工事	1	式									
9. 雑工事	1	式									
()工事	1	式									
()工事	1	式									
建築工事費計											

提案要請番号

(単位 千円)

名称	数量	単位	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	外構工事	その他
b 衛生工事内訳											
(1) 屋内衛生工事											
1. 衛生器具設備	1	式									
2. 給水設備	1	"									
3. 中水設備	1	"									
4. 排水設備	1	"									
5. 給湯設備	1	"									
6. 消火設備											
a 屋内消火栓設備	1	式									
b 連結送水管設備	1	"									
c 新方式消火設備	1	"									
d 簡易消火設備	1	"									
e 大型消火器設備	1	"									
7. 厨屑器具設備	1	"									
8. 特殊ガス設備	1	"									
9. 雨水利用設備	1	"									
10. 除雪設備											

提案要請番号

名称	数量	単位								
a. 実験排水処理設備	1	式								
b. 感染系排水処理設備	1	"								
11. 本施設利用設備	1	"								
12. グランド散水設備	1	"								
13. その他										
小計										
(2) 屋外衛生工事内訳										
1. 給水設備	1	式								
2. 中水設備	1	"								
3. 排水設備	1	"								
a. 汚水排水設備	1	"								
b. 雨水排水設備	1	"								
4. 消防用水設備	1	"								
5. グランド散水設備	1	"								
6. その他	1	"								
小計										
衛生工事計										

提案要請番号

6/10
(単位:千円)

名称	数量	単位	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	外構工事	その他
c電気工事内訳										
(1)屋内電気設備工事内訳										
1. 受電設備	1	式								
2. 自家発電機設備	1	"								
3. 直流電源設備	1	"								
4. 無停電電源設備	1	"								
5. 監視設備	1	"								
6. 幹線設備	1	"								
7. 動力設備	1	"								
8. 電灯コンセント設備	1	"								
9. 電話設備	1	"								
10. インターホン設備	1	"								
11. 拡声設備	1	"								
12. テレビ共聴設備	1	"								
13. ITV設備	1	"								
14. 電気時計設備	1	"								

提案要請番号

名称	数量	単位																		
15. 自動火災報知設備	1	"																		
16. 自動防犯装置設備	1	式																		
17. ガス漏れ警報設備	1	"																		
18. 表示設備	1	"																		
19. LAN用配管設備	1	"																		
20. 避雷針設備	1	"																		
21. 映像監視設備(AV)	1	"																		
22. テレビ電波障害防除設備	1	"																		
23. その他																				
小計																				
(2)屋外電気設備工事内訳																				
1. 高圧引込設備	1	式																		
2. 電話引込設備	1	"																		
3. 構内配電線路設備	1	"																		
4. 構内通信線路設備	1	"																		

得意票番号

8/10
(単位 千円)

名称	数量	単位								
5. 外灯設備	1	"								
6. テレスコピック照明設備	1	"								
7. 駐車場管制設備										
8. その他										
小計										
電気設備工事計										

提案要請番号

名称	数量	単位	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	棟工事	外構工事	その他
d空調工事内訳										
(1)屋内空調工事										
1. 熱源設備	1	式								
2. 空調調和機設備	1	"								
3. ダクト設備	1	"								
4. 配管設備	1	"								
5. 中央監視・自動制御設備	1	"								
6. 総合調整費	1	"								
7. 換気機器設備	1	"								
8. 換気ダクト設備	1	"								
9. 換気総合調整費	1	"								
10. 排煙機器設備	1	"								
11. 排煙ダクト設備	1	"								
12. 排煙総合調整費	1	"								
13. その他										
小計										

提案要請番号

10/10
(単位:千円)

名称	数量	単位																		
(2)屋外空調工事内訳																				
1. 配管設備	1	"																		
2. 総合調整費	1	"																		
小計																				
空調工事計																				
e昇降機工事内訳																				
1. NO 昇降機設備	1	式																		
2. NO 昇降機設備	1	"																		
3. 監視設備	1	"																		
4. その他																				
昇降機工事費計																				

提案要請番号

維持管理内容説明書

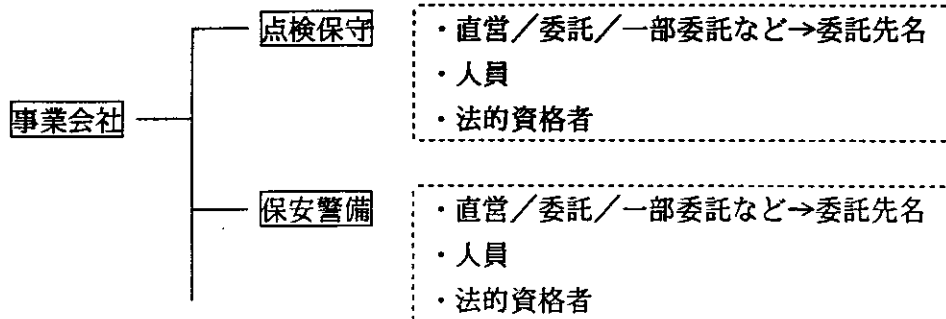
(1) 維持管理方針 (コンセプト)

- ・維持管理の基本的な方針や維持管理を行う上で重視するポイント等を記載してください。

(2) 維持管理の体制

- ・組織、執行体制 (人員、委託等の考え方)、法的資格者 (必要な資格を列挙) を記載してください。
- ・下記は記入例であり、型式は自由とします。

(記載例)



提案要請番号

維持管理料見積書

(1) 建物保守管理

①内容

- ・建物保守管理の内容を記載してください。(部位毎に点検内容及び対応などを記載してください。)なお、建築保全業務共通仕様書(建設大臣官房官庁営繕部監修・平成11年版)に記載されている項目については省略することができます。
- ・コスト削減及びサービス水準の向上という視点で、工夫している点がありましたら記載してください。特に設計・建設と連携している部分については、設計・建設上の特徴も記載してください。
- ・書式の仕様は原則A4縦(1枚程度)

②見積書

- ・①の内容に対応した見積書(初年度費用)を作成してください。

項目	金額(百万円/年)	内容・算定根拠
計		

提案要請番号

維持管理料見積書

(2) 設備保守管理 (点検・保守)

①内容

- ・設備保守管理 (点検・保守) の内容を記載してください。(設備区分毎に点検内容、点検周期などを記載してください。) なお、建築保全業務共通仕様書 (建設大臣官房官庁営繕部監修・平成 11 年版) に記載されている項目については省略することができます。
- ・コスト削減及びサービス水準の向上という視点で、工夫している点がありましたら記載してください。特に設計・建設と連携している部分については、設計・建設上の特徴も記載してください。
- ・書式の仕様は原則 A 4 縦 (1 枚程度)

②見積書

- ・①の内容に対応した見積書 (初年度費用) を作成してください。

区 分	項目(※1)	金額(百万円/年)	内容・算定根拠
電気設備			
	小 計		
衛生設備			
	小 計		
空調設備			
	小 計		
昇降機			
計			

※1 設置する設備に応じて区分の工事種別に対応した項目を適宜設定して記載してください。

提案要請番号

維持管理料見積書

(2) 設備保守管理 (運転・監視)

①内容

- ・機器類の運転・監視の内容を記載してください。(設備機器毎に運転・監視内容、点検周期などを記載してください。)なお、建築保全業務共通仕様書(建設大臣官房官庁営繕部監修・平成11年版)に記載されている項目については省略することができます。
- ・コスト削減及びサービス水準の向上という視点で、工夫している点がありましたら記載してください。特に設計・建設と連携している部分については、設計・建設上の特徴も記載してください。
- ・書式の仕様は原則A4縦(1枚程度)

②見積書

- ・①の内容に対応した見積書(初年度費用)を作成してください。

区 分	項目(※1)	金額(百万円/年)	内容・算定根拠
電気設備			
	小 計		
機械設備			
	小 計		
昇降機			
計			

※1 設置する設備に応じて区分の工事種別に対応した項目を適宜設定して記載してください。

提案要請番号

維持管理料見積書

(3) 清掃管理

①内容

- ・清掃管理の内容を記載してください。(清掃区域毎の作業内容、清掃周期などを記載してください。)なお、建築保全業務共通仕様書(建設大臣官房官庁営繕部監修・平成11年版)に記載されている項目については省略することができます。
- ・コスト削減及びサービス水準の向上という視点で、工夫している点がありましたら記載してください。特に設計・建設と連携している部分については、設計・建設上の特徴も記載してください。
- ・書式の仕様は原則A4縦(1枚程度)

②見積書

- ・①の内容に対応した見積書(初年度費用)を作成してください。

項目	金額(百万円/年)	内容・算定根拠
人件費		
外注費		
用度品費		
雑費		
その他※1		
計		
単価(円/㎡・月)※2		

※1 可能な範囲で具体的に記載してください。

※2 延べ床面積あたりの単価を記載してください。

提案要請番号

維持管理料見積書

(4) 保安警備

①内容

- ・保安警備の具体的な方法を記載してください。(エリア毎に防犯のレベルを明示した上で、提供されるサービス毎の警備方法、人員数、設備機器等を記載してください。)
- ・コスト削減及びサービス水準の向上という視点で、工夫している点がありましたら記載してください。特に設計・建設と連携している部分については、設計・建設上の特徴も記載してください。
- ・書式の仕様は原則A4縦(1枚程度)

②見積書

- ・①の内容に対応した見積書(初年度費用)を作成してください。

項目	金額(百万円/年)	内容・算定根拠
人件費		
外注費		
用度品費		
雑費		
その他※1		
計		

※1 可能な範囲で具体的に記載してください。

提案要請番号

維持管理料見積書

(5) 環境衛生管理業務

①内容

- ・環境衛生管理業務の具体的な方法を記載してください。(提供されるサービス毎に作業内容等を記載してください。)なお、建築保全業務共通仕様書(建設大臣官房官庁営繕部監修・平成11年版)に記載されている項目については省略することができます。
- ・コスト削減及びサービス水準の向上という視点で、工夫している点がありましたら記載してください。特に設計・建設と連携している部分については、設計・建設上の特徴も記載してください。
- ・書式の仕様は原則A4縦(1枚程度)

②見積書

- ・①の内容に対応した見積書(初年度費用)を作成してください。

項目	金額(百万円/年)	内容・算定根拠
空気環境測定		
照度の測定		
水質測定(排水設備)		
害虫及びねずみ防除		
合計		

提案要請番号

維持管理料見積書

(6) 植栽処理業務

①内容

- ・ 植栽処理業務の内容を記載してください。(提供されるサービス毎に、作業内容、人員数等を記載してください。)
- ・ コスト削減及びサービス水準の向上という視点で、工夫している点がありましたら記載してください。特に設計・建設と連携している部分については、設計・建設上の特徴も記載してください。
- ・ 書式の仕様は原則A4縦(1枚程度)

②見積書

- ・ ①の内容に対応した見積書(初年度費用)を作成してください。

項目	金額(百万円/年)	内容・算定根拠
人件費		
外注費		
用度品費		
雑費		
その他※1		
合計		

※1 可能な範囲で具体的に記載してください。

提案要請番号

維持管理料見積書

(7) 光熱水費

①内容

- ・コスト削減及びサービス水準の向上という視点で、工夫している点がありましたら記載してください。特に設計・建設と連携している部分については、設計・建設上の特徴も記載してください。
- ・書式の仕様は原則A 4縦（1枚程度）

②見積書

- ・通常使用の範囲で、①の内容に対応した見積書（初年度費用）を作成してください。

項目	金額(百万円/年)	内容・算定根拠
電気代		
水道代		
ガス代		
その他※1		
合計		

※1 可能な範囲で具体的に記載してください。

提案要請番号

維持管理料見積書

(8) 消耗品費

①内容

- ・維持管理業務を行う上で、必要な消耗品（ランプ、ヒューズ、パッキン、潤滑油、衛生消耗品等）について、コスト削減及びサービス水準の向上という視点で、工夫している点がありましたら記載してください。特に設計・建設と連携している部分については、設計・建設上の特徴も記載してください。
- ・書式の仕様は原則A4縦（1枚程度）

②見積書

- ・通常使用の範囲で、①の内容に対応した見積書（初年度費用）を作成してください。

項目	金額(百万円/年)	内容・算定根拠
建物保守管理	※1	
設備保守管理		
清掃管理		
保安警備		
環境衛生管理		
植栽等管理		
計		

※1該当する項目のみ記載してください。

提案要請番号

維持管理料見積書

(9) 維持管理料見積書 (全体)

①初年度集計※1

	事業会社※2	県※2	合計	備考
建物保守管理費				
設備保守管理費				
清掃管理費				
保安警備費				
環境衛生管理費				
植栽等管理費				
光熱水費				
消耗品費				
計				

②予想上昇率

・予想される上昇率について事業期間 30 年を対象に記載してください。

項目	上昇率の改定期	上昇率(%)	金額(百万円/年)	備考
建物保守管理	初年度～	※3		
	～			
設備保守管理	初年度～			
	～			
清掃管理	初年度～			
	～			
保安警備	初年度～			
	～			
環境衛生管理	初年度～			
	～			
植栽等管理	初年度～			
	～			
光熱水費	初年度～			
	～			
消耗品費	初年度～			
	～			
計				

※1 見積書は初年度(1年間)の費用を記載してください。

※2 県から委託手数料を介して事業者が支払うものは事業会社の費用として計上してください。また、県が事業会社を介さずに直接支払う費用は県の費用として計上してください。

※3 初年度から一定期間は費用が上昇しないという設定である場合は、上昇率はゼロになります。また、物価上昇率は長期収支計画で設定しますので、物価上昇以外の要素について記載してください。

提案要請番号

